

WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5A ビル6F
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611
<http://www.tokyo-kohoku-rc.org>



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

東京江北ロータリークラブ

会長 小林光夫 / 会長エレクト 守屋裕之
幹事 羅山能弘 / 副幹事 高橋史郎
会報・IT委員長 渡邊浩



60周年を学び、親睦を深めよう



ROTARY CONNECTS
THE WORLD

RC 会長

小林 光夫

RI 会長

マーク・ダニエル・マローニー

5月特別号 No, 1

Rotary Rate 107円



上野精養軒



気持ちの良い新緑の時期ではありますが、毎週、例会を行っている上野精養軒本店は静まり返っています。

ホームページには、上野精養軒では新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」を踏まえ、お客様並びに従業員の健康と安全、ウイルス感染拡大防止の観点から当面の間、全店臨時休業とさせていただきます。と記載されています。

上野本店、グリルフクシマ、カフェランドーレ、浅草店、上野駅前3153 (サイゴーサン) 店、東京美術館レストランミュージズ、レストランサロン、カフェアート、国立科学博物館カフェアート、ムーセイオン、東京文化会館フォレストイーユ精養軒、Café HIBIKI、松屋銀座店、ブルーフレール精養軒 (東京大学付属病院内)、大岡山駅前店ROYAL BLUE、すべて当面の間、臨時休業しています。内容について変更がある場合は、ホームページでお知らせする旨の記載がありました。

THE ROTARY CLUB OF TOKYO-KOHOKU



稲吉久信君

ご無沙汰しております。皆様にお逢い出来ず寂しい日々を過ごしております。

さて緊急事態宣言が発令され延長となりました。弊社は国民の食糧の確保の為に原料を安定的に配送する社会的使命を全うするべく営業を継続しております。ですが、私自身も配送も暇で困っております。こんな時でも夜は必ず明けるとポジティブに捉えて収束後に皆様とお逢い出来る日を楽しみにしております。

鎌田秀一君

皆様こんにちは。お元気でしょうか？
木曜日のカレーの味忘れそうです。毎週木曜日皆様と一緒に歌ってたのも無くなり、人と話すのも少なくなり私としては残念な限りです。私もそうですが、皆様もストレスを貯めないようにしてください。今回の事で一番大きく私も、皆様も、変わったことと思いますが、家で食事することが多くなったのではありませんか？家族団らん。夫婦円満。最近特に身に染みております。早くロータリー再開を望んでおります。

土屋武司君

東京江北ロータリークラブの皆さん、2月の例会以降「新型コロナウイルス感染症」の影響を受け、例会も休会の状況が続いておりますが、如何お過ごしでしょうか？

私も、仕事面では金融インフラを支えるという使命より、3月以降地域企業を始めとした資金繰り支援、返済計画見直し、事業(お客様)支援に追われる日々を送っています。このゴールデンウィーク期間中も、一部店舗を開け相談対応を行っておりますが、地域経済の疲弊と依然先行きが見えないこうした事態に不安を抱きながら、日々地域応援に繋がる施策を模索する状態が続いております。また、私生活面でも緊急事態宣言に伴う「ステイホーム」要請にて、自宅で読書、不慣れなDIYや男料理、土いじり、さらにファイヤースティックTVを購入し映画やドラマに興じる生活を送っておりますが、流石にこれだけ続き長期戦となると身体も訛り、次第にストレスを感じるようになってきました。

皆さんの情報が、RC報にて発信されており、私も拝見させていただいておりますが、是非何か良い「ストレス対策」があればご紹介ください。どうやら緊急事態宣言も長期戦となるようです。例会再開も当面先となりそうな気配医少々寂しさを感じるころではありますうが、皆さんもお体をご自愛いただきお過ごしください。一日も早くこうした状況が終息し、また例会にて皆さんにお会い出来ます事を楽しみにしております。

笠間市に1億円寄付 革ベルト「丸正」創業者・小薬さん 「医療、介護に役立てて」



5/18(月) 12:00 配信
写真：2019年2月20日
笠間中で講演する
小薬正男さん

笠間市は、男性用革ベルトメーカー「丸正」(東京都)の創業者で同市出身の小薬正男さん(84)から、1億円の寄付を受けたと発表した。小薬さんから市への寄付は9回目。総額は1億1200万円に達した。

小薬さんは市を通じて「医療、介護の人材育成に役立ててほしい」とコメント。山口伸樹市長は「度重なる多額の寄付に古里に寄せる深い思いを感じている。小薬さんの意志に沿い、きちんと活用させていただきます」と謝意を表した。

小薬さんは1935年生まれ。15歳で東京・浅草のベルト工場にでっち奉公に入り、20歳で独立してベルト・革小物を手掛けるマルショ一商会を創業。以後、事業を拡張し、日本国内のほか、中国とバングラデシュに自社工場を構えるなど有数の企業に成長させた。

生まれ育った笠間への思いも人一倍強く、「世界基準で物事を考えられる、たくましい人材が育てほしい」と、同市主催の青年海外派遣事業に2009年から6回にわたって計900万円を寄付。16、17年には「ふるさと納税」制度を活用して年間150万円の寄付を行った。

19年2月には、母校の笠間中で講演会を開催。裸一貫で会社を築き上げた経緯を交え、ひた向きに働く大切さを説いた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3d522ddaa5711baa9cfe5c772790ea1d39bea41b>

ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

検索



ロータリーボイス 世界で行動する人びとの体験談ストーリー 新型コロナウイルス流行の中でロータリーに参加しつづける方法

新型コロナウイルスの猛威により世界に不安と困難な状況が広がる中、ロータリー会員と参加者たちが画期的な方法で支援し、離れていても手を差し伸べる方法があることを示しています。

奉仕と行動を大切にするロータリー会員は、地域社会で率先してプロジェクトを立ち上げ、支援を必要とする人びとへの援助を行っています。しかし、多くの地域で生活が急変しており、保健専門家らは、人びとが互いの距離を空け、感染力の強いこのウイルスの拡大防止のために必要であれば自己隔離することを呼びかけています。

「疾病の予防と治療」はロータリーの主な活動分野の一つです。これまでも会員は、適切な手洗いや感染予防法について啓発活動を行い、医療従事者への研修や医療機器を提供してきました。現在は、各地の保健当局による新型コロナウイルス情報の周知を援助し、パンデミック（世界的大流行）によって多大な負担を強いられている医療施設や病院に防護用品を寄贈するといった活動を行っています。

ロータリーは人と人とのつながりを礎としています。でも、新型コロナウイルスの影響で例会や行事ができない、親睦や奉仕の活動ができない、という方も多いでしょう。今回は、オンラインを通じてさまざまな方法でロータリーに参加し続ける方法をご紹介します。



ロータリーは人と人とのつながりを礎としています。でも、新型コロナウイルスの影響で例会や行事ができない、親睦や奉仕の活動ができない、という方も多いでしょう。今回は、オンラインを通じてさまざまな方法でロータリーに参加し続ける方法をご紹介します。

オンライン会議ツールを活用

新型コロナウイルスでテレワーク（在宅勤務）をする人が多くなり、最近メディアでも話題となっているのがオンライン会議ツールです。こんな時は、E クラブでなくてもオンラインツールを利用して例会を開いたり、仲間との会話を楽しんだり、奉仕活動のアイデアを話し合ったりできます。

Zoom は日本語で利用できる大変便利なツールです。無料の場合は参加人数 100 人まで、制限時間は 40 分間です。有料の場合は時間無制限です。ロータリー会員は、ロータリー グローバルリワードで割引料金をご利用いただけます。そのほかにも、Google ハングアウト Meet や Microsoft Teams といったオンラインのミーティングツールがあります。

また、2720 Japan O.K. ロータリーE クラブは、地区内外のすべてのロータリアンを対象に、期間限定でメイクアップ料を無料にしています。所属クラブの例会に出席できない会員にはとてもありがたいですね！

ビデオメッセージ

マローニー会長が会員に向けて発信したビデオメッセージをご覧になりましたか？直接会うことができなくても、クラブ会長のスピーチや卓話を動画で発信することで、自宅にいる会員にメッセージを届けることができます。

ソーシャルメディア

フェイスブックでクラブのグループを作り、互いの近況やコメントを寄せ合うことで、仲間との距離感を縮めることができます。奉仕活動のアイデアを出し合ってブレインストーミングすることもできます。

通常は例会でロータリーの情報を学んでいる、という方は、ロータリーの各種ソーシャルメディアで情報を得ることができます。

地域社会を支援

新型コロナウイルスの影響はすべての地域社会に及んでいます。事情は各地域によって違うため、地元の状況を判断しつつ、クラブにできることを考えてみてはいかがでしょうか。

以下に、新型コロナウイルス対策のために世界各地のクラブが実施している活動例をいくつかご紹介します。

- 認識向上のチラシやポスターを作成（インド、バングラデシュ）
- 医療用手袋とゴーグルを病院に寄贈（フィリピン）
- 生徒への手洗い指導（ナイジェリア）

このほかにも各国のクラブによる新型コロナ対応の活動がロータリーショーケースに紹介されています（「COVID」または「Coronavirus」で検索）。皆さまのクラブでも活動を実施した場合は、ぜひロータリーショーケースにご投稿ください。

クラウドファンディングを活用するのも一案です。

ラーニングセンター

研修セミナーが中止・延期となってしまった場合には、ロータリーのラーニングセンターのコースを利用することもできます（My ROTARY へのログインが必要）。いずれも無料で、さまざまな役職やトピックに関するコースが用意されています。

ロータリーは会員とそこご家族、地域社会の皆さまの健康と安全を最優先しております。不要な外出は控え、手洗いを徹底させるなど、皆さまお気をつけてお過ごしください。新型コロナウイルスのロータリーへの影響に関する最新情報はこちらのページをご覧ください。

WEB 抜粋（執筆担当：時山氏）

<https://www.rotary.org/ja/rotary-monitors-coronavirus-outbreak>